

教科名：英語科

【第3学年 総合英語Ⅰ】 ルーブリック評価表

観 点	内容のまとめり	評 価 規 準	評 価 基 準			評 価 方 法
			A	B	C	
知識・技能	聞くこと 読むこと 書くこと	聞くこと、読むこと、書くことの領域において、英語の特徴やきまり（英語の音声、語彙、表現、文構造及び文法、言語の働きなど）に関する事項を理解している。	英語の特徴やきまり（英語の音声、語彙、表現、文構造及び文法、言語の働きなど）に関する事項を十分に理解している。	英語の特徴やきまり（英語の音声、語彙、表現、文構造及び文法、言語の働きなど）に関する事項を概ね理解している。	英語の特徴やきまり（英語の音声、語彙、表現、文構造及び文法、言語の働きなど）に関する事項の理解が不足している。	・定期考査 ・ワークシートの取組
		聞くこと、読むこと、書くことの領域において、英語の特徴やきまり（英語の音声、語彙、表現、文構造及び文法、言語の働きなど）に関する事項を、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、英語の特徴やきまり（英語の音声、語彙、表現、文構造及び文法、言語の働きなど）に関する事項を活用できる技能を十分に身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、英語の特徴やきまり（英語の音声、語彙、表現、文構造及び文法、言語の働きなど）に関する事項を活用できる技能を概ね身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、英語の特徴やきまり（英語の音声、語彙、表現、文構造及び文法、言語の働きなど）に関する事項を活用できる技能を身に付けられていない。	
思考・判断・表現	聞くこと 読むこと	聞くこと、読むことの領域において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じ、日常的、社会的な話題について、必要な情報、話されたり書かれたりする文章などを聞いたり読んだりして、話し手や聞き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができる。	環境や文化などの日常的な話題や社会的な話題について、インタビューやニュースの複数の論文などから、必要な情報を聞いたり読んだりして、話し手や聞き手の意図や概要、要点、詳細を目的に応じて適切に捉えている。	環境や文化などの日常的な話題や社会的な話題について、インタビューやニュースの複数の論文などから、必要な情報を聞いたり読んだりして、話し手や聞き手の意図や概要、要点、詳細を目的に応じて概ね捉えている。	環境や文化などの日常的な話題や社会的な話題について、インタビューやニュースの複数の論文などから、必要な情報を聞いたり読んだりして、話し手や聞き手の意図や概要、要点、詳細を目的に応じて捉えられていない。	・定期考査 ・パフォーマンス・テスト ・課題および提出物の取組 ・ワークシートの取組
	話すこと〔発表〕 話すこと〔やりとり〕 書くこと	話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの領域において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じ、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、課題の解決策等を、基本的な語句や文を用いて、話したり書いたりして、適切に表現したり伝え合ったりしている。	(1) 環境や文化などのテーマに関して、聞いたり読んだりしたことを基にプレゼンテーションを構成し、論理性に十分注意して発表している。 (2) 聞いたり読んだりしたことを基に基本的な語句や文を用いて、情報や考え気持などを話して伝え合うことが極めて十分にできる。	(1) 環境や文化などのテーマに関して、聞いたり読んだりしたことを基にプレゼンテーションを構成し、論理性に注意して発表している。 (2) 聞いたり読んだりしたことを基に基本的な語句や文を用いて、情報や考え気持などを話して伝え合うことが概ねできる。	(1) 環境や文化などのテーマに関して、聞いたり読んだりしたことを基にプレゼンテーションを構成し、論理性に注意し発表できていない。 (2) 聞いたり読んだりしたことを基に基本的な語句や文を用いて、情報や考え気持などを話して伝え合うことができていない。	
主体的に学習に取り組む態度	聞くこと 読むこと 話すこと〔発表〕 話すこと〔やりとり〕 書くこと	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮し、論理的に詳しく話して伝えようとしている。	パフォーマンス・テストや言語活動において、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、極めて主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。	パフォーマンス・テストや言語活動において、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、概ね積極的に主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。	パフォーマンス・テストや言語活動において、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしてない。	・授業への取組 ・課題および提出物の取組 ・単語テスト
			パフォーマンス・テストや課題の取組を通じて、言語活動の取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を極めて自覚的に捉えようとしている。	パフォーマンス・テストや課題の取組を通じて、言語活動の取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を概ね自覚的に捉えようとしている。	パフォーマンス・テストや課題の取組を通じて、言語活動の取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして自らの学習を自覚的に捉えようとしていない。	

